

# 会議録

会 議 名	平成 28 年度 第 2 回 八王子市高齢者あんしん相談センター運営部会
日 時	平成 28 年 7 月 29 日 (金) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分
場 所	八王子市役所 本庁舎事務棟 7 階 702 会議室
出 席 委 員	和氣純子会長、山内秀史副会長、小池公江委員、日高絢子委員、平川博之委員、村上正人委員、大久保孝彦委員、栗野洋子委員、田中泰慶委員、小新井妙子委員、吉澤努委員
出席臨時委員	
オブザーバー	(高齢者あんしん相談センター堀之内) 池田センター長、(高齢者あんしん相談センター川口) 中川センター長、(高齢者あんしん相談センター元八王子) 野津山センター長、(高齢者あんしん相談センターもとはち南) 光富センター長
関 連 部 署 説 明 員	福祉部長 豊田、高齢者いきいき課長 元木、介護保険課長 横溝、地域医療政策課長 高橋
説 明 者	社会福祉協議会 尾崎
事 務 局	高齢者福祉課長 溝部、高齢者福祉主査 半田・辻野、高齢者福祉主事 渡邊
欠 席 者	
公開・非公開 の 別	「公開」
傍 聴 人 の 数	「なし」
次 第	1 開会 2 報告 (1) 生活支援コーディネーター (第 2 層) の活動状況について (2) 平成 27 年度高齢者あんしん相談センター各種実績等について 3 議題 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター運営部会臨時委員の選出について 4 その他事務連絡 5 閉会
配 付 資 料 名	資料 1-1 平成 27 年度高齢者あんしん相談センター事業報告書 1-2 平成 27 年度高齢者あんしん相談センター各種事業等実績一覧 1-3 平成 27 年度高齢者あんしん相談センター相談実績 (延相談件数) 1-4 平成 27 年度高齢者あんしん相談センター収支決算資料 2 平成 28 年度高齢者あんしん相談センター運営部会 臨時委員案 3 地域ケア会議への議題提示等今後の進め方 生活支援コーディネーター (第 2 層) これまでの活動状況 (概要) 意見書

1 開会

- 【高齢者福祉課主査】 平成 28 年度第 2 回高齢者あんしん相談センター運営部会を開催する。
- 【高齢者福祉課主査】 本日の高齢者あんしん相談センターオブザーバー参加は、高齢者あんしん相談センター堀之内の池田センター長、センター川口の中川センター長、センター元八王子の野津山センター長、センターもとはち南の光富センター長。  
センター長挨拶。
- 【高齢者福祉課主査】 配布資料確認。  
本部会は原則公開とする。今回についても公開としてよろしいか。
- 【 全 員 】 異議なし。
- 【高齢者福祉課主査】 それでは、報告に入る。ここからの進行は、本部会運営要綱第 4 条に基づき、会長にお願いすることになる。和氣会長にお願いする。

2 報告

- 【報告（1）：平成 28 年度高齢者あんしん相談センター事業計画について】
- 【和氣会長】 次第に沿って進める。【報告（1）：生活支援コーディネーター（第 2 層）の活動状況について】社会福祉協議会から説明を願する。
- 【社会福祉協議会】 生活支援コーディネーターの配置は 6 名。八王子市内を 6 圏域に分けるという考えで圏域ごとに担当者を配置。高齢者あんしん相談センターへの訪問を行い、八王子市内 16 のセンターの取り組みや地域課題等について、訪問し情報収集を行い、把握した課題を記入した。  
  
高齢化が進む集合住宅への対応が中央部、北部、西南部、東部として課題を把握。生活環境や住宅立地条件による移動手段の必要性が西部、東南部、北部の方では課題として挙がっている。取り壊しを予定している集合住宅について住民が不安感を持っている情報をもらった。高齢者サロンの活動のほか、住民主体の地域福祉活動への訪問、実態把握はサロン等に 84 回参加し、訪問した中で様々な課題を収集した。サロンの新規立ち上げ支援で 9 箇所について支援を行っている。サロンに伺い、スタッフが高齢化している中で活動継続についてスタッフの方々が不安を持っている。サロンを利用する方は女性が多く、男性の参加者が少なく、参加者も固定化している。どうしたら課題を解決できるかは社会福祉協議会の課題だと捉えている。見守り支援あいネットワーク支援では長房市営団地への支援あいネットワークの立ち上げの支援をしている。今年度中耐団地で新たに立ち上がると聞いている。小地域福祉活動情報交換会開催し、各団体の活動内容をよりスクリアップしている。丘台連絡会への参加で絹ヶ丘、北野台、片倉台それぞれがネットワークを作り、連絡会へ参加。福祉団体等への連携構築だが、社会福祉法人の地域における広域的な取り組みに関する意見交換会を開催。社会福祉協議会として市内の社会福祉法人の方々を集め、どういう取り組みをしていくべきか、今後地域で連携をして取り組みができるかどうかを意見交換した。

第2層の協議体については市との契約の中でも謳われていた協議体それぞれの圏域ごとに設ける。8月25日に北部圏域石川市民センター、東南部で8月31日にそれぞれ協議体を開催する事で準備を進めている。第1層の協議体は、障害者団体や高齢者の施設の団体の代表者を集めて協議体を開くと聞いている。第2層は各施設で実質的に事業に取り組んでいる方の意見を聞きたいという事でメンバーを固定せず開催したいと考えている。協議体で出た意見を取りまとめ、第1層の協議体に報告する。

- 【和気会長】 内容について質問・意見等あるか。
- 【田中委員】 見守り支援ネットワークへの支援の中の丘台連絡会はどんな形の組織か。
- 【社会福祉協議会】 各地域で見守りの活動を行っている。地域活動を積極的に行っている絹が丘、北野台、片倉台、地域は一部分だが3団体の意見交換会を実施している。
- 【田中委員】 連絡会というのは地域が集まって意見交換という意味か。何回ほど行っているか。
- 【社会福祉協議会】 把握できてない。年に3、4回程だったと思う。その場に職員が出向き、社協で支援できることあるか、アドバイスができればと思い、参加している。
- 【田中委員】 定例的に行う予定か。
- 【社会福祉協議会】 はい。社協としては地域ごとの活動を更に育成していき、多く立ち上げていく事が必要と考えている。新たに立ち上げた地域は、連絡会は実施したい。
- 【田中委員】 片倉台では、見守りしてほしい人に手を挙げてもらい、近くの方に見守ってもらえるよう、配置を考えながら行っているが、他の地域ではどのようにされているか。
- 【社会福祉協議会】 長房の支援ネットワークがあるが、集合住宅なのでその中で近くの人が見守っている。集合住宅は取り組みやすい。災害等を考えるとやはり近くの人がよい。
- 【田中委員】 集合住宅の方が取り組みやすいと思う。見守れる人を増やしていく事が課題となる。6圏域に1人ずつということだが、16圏域中、北部は左入だけだが、西南部、西部、複数あるという所もある。6人の負荷が心配。
- 【社会福祉協議会】 仕組みについては立ち上がったばかりなので、実績を踏まえながら市とも協議し、市内全体で平等のサービスができるよう調整する必要がある。コーディネーターは、市の基本構想の6圏域に分けて実施していく考え方にに基づき、6圏域に分けている。包括ごとに担当を配置していくという方策が必要だと考えている。
- 【田中委員】 高齢者人口の問題もあると思う。バランスという意味では、将来的にも増やしていく必要がある。提案、議論しながら進めていく必要がある。当面は仕方ないにしても、考えていかないといけない。
- 【高齢者福祉課長】 市の方は、基本的に日常生活圏域毎と考え方がある。今は段階的に6圏域でスタートしているが、いずれは16圏域と考えている。そちらに生活支援コーディネーターを配置していきたい。
- 【田中委員】 次の対象は長房か。圏域を新しく作るには。
- 【高齢者福祉課長】 恩方となる。
- 【和気会長】 次の介護保険事業計画に盛り込んで検討していくのか。
- 【高齢者福祉課長】 そうということとなる。

- 【和氣会長】 来年度から順次ということになるか。
- 【高齢者福祉課長】 来年度については、増やしたいと思っている。予算要求は動いている。
- 【和氣会長】 どのあたりを優先的増やしていくのか計画を示して頂きたい。
- 【平川会長】 地域の情報をどうやって把握していくのか。すでに出来あがっているところに訪問した感想を聞きたい。立ち位置が見えてきていない。どういう立ち位置で溶け込んでいくのか教えてほしい。溶け込む苦労があれば支援すべき。コーディネーターが介入しプラス面、マイナス面はあるのか。貴重な取り組みである。
- 【社会福祉協議会】 地域情報の把握方法は、サロン活動している所に参加させてもらい意見をもらう。地域福祉推進拠点を整備したいと考えており、現在川口地域と地元調整している。拠点で新たにサロン開設する必要はないと言われている。川口事務所を拠点にしたいと思っているが包括があるので、包括との役割分担を求められている。現在の計画だと2階に置く予定だが2階ならエレベーターが必要だと言われている。なるべくお金をかけないで効果のあるものを作るのが重要だと言われている。
- 【和氣会長】 見守り支えあいネットワークだがいくつかの自治体では、行政が主体となって行っている。八王子はある地域では熱心に行っているが、システムチックな取り組みとまではいってない。この場合も団地での立ち上げ支援という事で、住民が主体になるのは大切だが、行政なり市の見守り支援のシステム作りはどのようになっているか。
- 【高齢者福祉課長】 過去に市全域でやっていこうという動きはあったが、現在はさりげない見守りはあるが、マンツーマンの見守りは全市的にはない、今後の課題かと。
- 【和氣会長】 地域によっては活動が欠かせないとか、システムを重ねていないと見守り人もきちんと対応関係が明らかにならない。異変に気づこうという日頃の関心が育たず、気づいた時にどこへ連絡したらよいかわからない。気づいたらどこに連絡するなど決まっているか。共通認識あるか。
- 【高齢者福祉課長】 包括や市へ連絡してもらうことになっている。
- 【和氣会長】 今後、地域ケア推進会議として年度後半に会が開催されるが、検討課題の一つとして考えてもらえれば。もう一点、福祉団体との連携構築という事だが、意見交換会に出られたという事でどういう事が話題になっているか知りたい。
- 【社会福祉協議会】 7月27日に学園都市センターにて開催。市内60施設があり8割が出席。国は社会福祉法人に余裕があるのではないかと、好意的な取り組みをするのが税制面から言っても優遇されているので、法改正の中で取り組みを更に進めなさいとの事。法人側は、これまでも一定のものは取り組んでいる。社会福祉法人は保育園や高齢者施設も国から予算が決まっていて、ぎりぎりでやっていて、人も施設もお金の面で拠出するのは、余裕がない。国からは省令が出ていないので詳しくわからない。社会福祉協議会が事務局として動いている。3月に続いて2回目の会議。ブロックに分かれて意見交換した。国、あるいは市町村や東京都の事業として委託金、補助金をもらっている事業は対象外、弱者対策である。施設、事業者側は認識していないというような団体もあれば先読みして対策されている所もある。市内でも温度差があるのが実感。

【山内副会長】 報告書の中に把握した課題が書いてあるが、生活環境・住宅で3つの圏域でこういう課題が把握されたとあるが、それ以外の所はないのかと思うが、大きな圏域はないにしても、小さな地域ではあると思うので目配りお願いしたいと思う。

【社会福祉協議会】 まだ十分に情報収集が進んだと思っていないので、色々機会をとらえて情報収集して課題整理していきたいと思う。社協ができること、市側をお願いすること、市民にやっていただき事を整理したいと思う。

【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【報告(1):生活支援コーディネーター(第2層)の活動状況について】は以上。よろしいか。

【報告(2):平成27年度高齢者あんしん相談センター各種実績等について】

【和氣会長】 【報告(2):平成27年度高齢者あんしん相談センター各種実績等について】事務局から説明をお願いします。

【高齢者福祉課長】 資料1-1について、特徴的なところを少し触れる。権利擁護は関係機関との連携が進んでいると感じる。包括的ケアマネジメントについては、警察との連携、ケアマネへのレクチャーや意見提供などを行っている。医療介護連携は病院や診療所など地域の関係作り、薬剤師や医師会との地域ケア会議での連携など。毎年5,000人強の認知症サポーターを養成し、現在26,000人。学校や薬局や病院、警察など関係する事業者の受講が進んでいる。介護予防教室は自主化の方向性をどの包括も打ち出している。平成27年度、28年度にかけて大学との連携を、地域のサロンづくり、団地内の居場所づくり、高齢者向けサロンの実施、介護予防体操など、八王子らしい取り組みが進んでいると考えている。

1-2について、ケアプラン数は委託に出している方が多い。総件数は6パーセント増え、認サポは1.4倍に増えた。地域ケア会議も1.2倍ほど増えた。

1-3について、今年度から延件数と実件数を表示した。各件数とも10パーセントほど伸び、包括の認知度が進んでいると思う。南大沢、川口は公共施設に移転した効果も確実にできていると思う。

1-4について、でっこみひっこみがあまり出ないようにしている考えは3か年契約時を踏襲。人件費がほとんど。1人あたり570万で委託料を算出している。黒字のところは給与が安い、赤字は給与が高い傾向あり。国の会計監査を受けた。収支決算について包括の委託としての収支決算を分けるよう指導があった。

【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。

【小荒井委員】 長沼のその他人件費の予防が他と比べ突出しているのは何故か。

【高齢者福祉課主査】 予防支援事業でプラン作成などをする方の人件費をかけてやっている為。

【小荒井委員】 例えばどういう事か。

【高齢者福祉課主査】 ケアプランを作成する予防支援事業所は包括と兼任している所もあれば専属でしている所もある。長沼は専属でしている人数が多い為人件費が突出している。

【小荒井委員】 今までもそうだったか。

【高齢者福祉課主査】 今回数字の見せ方について会計検査員の指導もあり前年度と違う見せ方となる。今年度ははっきりさせるという事で数字の作り方を変え、こういう状況になった。

- 【小 荒 井 委 員】 家族介護者教室のカウントについて決まりはないのか。包括に任せているか。南大沢は平均 29 件のところ 4 件、めじろは 73 件。サロンの参加もカウントされるのか。
- 【高 齢 者 福 祉 課 主 査】 カウントの仕方については、ある程度こちらで家族介護者教室にカウントするよう包括毎にバラツキがないように指導していく。
- 【小 荒 井 委 員】 4 と 73 が隣り合っているから余計に目立つのか。
- 【高 齢 者 福 祉 課 主 査】 地域のニーズ等もある状況なので、場所によっては開催の数も違ってくると思う。
- 【小 荒 井 委 員】 以前は運営協議会がヒアリング等をしていたが、市の方でこれからヒアリングして指導するという事か。
- 【高 齢 者 福 祉 課 主 査】 ヒアリングは実施済。特に何回しろとは指導していない。地域のニーズにあった形で色々な事業展開をしている。介護予防教室など差が出てくる部分もあるが、各包括の地域の取り組みや地域の要望を捉えた上で行っている。
- 【小 荒 井 委 員】 大事なことだと思うが。
- 【高 齢 者 福 祉 課 主 査】 やってもらうことは大切だが、数をこなせばいいというものでもない。内容も含め、今後も各センターと調整したい。
- 【小 荒 井 委 員】 よろしく願います。
- 【田 中 委 員】 収支決算資料だが 3 年契約で単年度見ることも大事だが、本当に収支がどうなっているのか市の方はどんな観点から見ているのか。
- 【高 齢 者 福 祉 課 長】 第 6 期の事業計画の中で制度改正が見込まれたことから、契約内容変更が生じる可能性が見込まれる為単年度にした。3 年の中で収支を見たい。単年度もそれぞれ見るが最終的平成 29 年度が終わった時に 3 年間でどうだったか評価したい。
- 【田 中 委 員】 その観点で見ることが大事だと思う。3 年の契約期間の中で大きなマイナスが出るのは運営がまずいのか、制度が悪いのかよく検証する必要がある。それぞれのセンターの経営が成り立たない。問題なのは人件費だと思う。人件費が安いという問題があるから介護が回らない。きちんとできない部分もあり、人件費を十分に支払うと高くてマイナスになっている。認識したうえでどうすればいいのか検証する必要がある。
- 【和 気 会 長】 同じ資料 1-4 センター運営。0 の箇所が何か所かある。また 200 万以上計上されているセンターがある。この差は考え方の違いによるのか。
- 【高 齢 者 福 祉 課 主 査】 各法人の考え方によるが、包括的支援事業の人件費として委託料の中に盛り込んでいる人数とは別に包括的な運営に関わった人の人件費を計上している。事務の人、専門職、配置以上に配置しているセンターについては人件費があがっている。各法人の考え方であがっているセンターあがっていないセンター差がある。
- 【和 気 会 長】 すごく収支がプラスになっているセンター、マイナスになっているセンターもあり、法人の中で色々なやりくりをされているので数字のみで語れないが、1,000 万以上のプラスが出ている南大沢で言えば若い方ばかり雇われているわけでない印象を受ける。法人の人件費、給料表がそんなに違うものなのか疑問に感じる。素朴な疑問。

- 【高齢者福祉課主査】 こちらの方では何とも言えない。南大沢は人の入れ替えが非常に多くあった。経験年数が浅い職員も多く、今年度については人件費が安くなっているのではないかと。
- 【和氣会長】 長いスパンで3年見てあまり利益が上がっているのでしょうか。マイナスもどうなのか、中身については精査した方はよいのではと思う。
- 【吉澤委員】 南大沢の1,000万以上は八王子市に戻ってくるのか。
- 【高齢者福祉課主査】 帰ってこない。法人のプラスになる。
- 【吉澤委員】 包括の利益になるのか。マイナスの川口とかは法人が補てんするのか。
- 【高齢者福祉課主査】 そうなる。1,000万の利益の内半分は予防支援事業所として取り組んだ収益になるので全部が全部委託料のプラスではない。
- 【吉澤委員】 川口のマイナス400万足りない部分は法人が補てんするのか。
- 【高齢者福祉課主査】 そうなる。
- 【和氣会長】 センター長から何か意見あるか。
- 【光富センター長】 教室とか色々な実績が出ているが、配置されている職員や高齢者人口など、例えば家族介護者教室の項目の中に出張相談もいれているのでそこも加味してもらいたい。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【報告(2)：平成27年度高齢者あんしん相談センター各種実績等について】は以上。よろしいか。

### 3 議題

【議題：平成28年度高齢者あんしん相談センター運営部会臨時委員の選出について】

- 【和氣会長】 【議題：平成28年度高齢者あんしん相談センター運営部会臨時委員の選出について】事務局から説明をお願いします。
- 【高齢者福祉課長】 今年度については次回の10月本部会において地域ケア推進会議、生活支援協議会第1層の会議体を位置づけ、臨時委員を補充した形で今年度も開催したいと考えている。案として出した7つの団体だが、前年度も参加の団体となる。この団体で臨時委員としてさしてもらえるかどうか、不足する団体があるようなら意見をお願いしたい。
- 【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。
- 【和氣会長】 昨年も参加の団体で、参考までにどんな団体かというと警察の方は何箇所、1人だけではなく複数名出席。最近では不動産関係の団体で空家対策や住居問題、就労支援しているシルバー人材センターや商店街の団体もいる。高齢者福祉に関わって来なかった地域の様々な団体が出席、生活支援も含めて地域の高齢者を包括的に支援できるか一緒にグループワークして話し合いをしている。必要あればテーマにより関係者を呼んでもいいとなっていたか。何をするかにより変わっては来るが。
- 【高齢者福祉課長】 呼んでいいことになっている。
- 【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【議題：平成28年度高齢者あんしん相談センター運営部会臨時委員の選出について】は以上。よろしいか。

#### 4 その他事務連絡

【その他事務連絡：地域ケア会議への議題提示等今後の進め方】

【和氣会長】 【その他事務連絡：地域ケア会議への議題提示等今後の進め方】事務局から説明をお願いします。

【高齢者福祉課長】 地域ケア推進会議は次回10月開催になるが、議題提示等今後の進め方について説明する。今現在各センターで平成27年度については年間100回程度地域ケア会議を開催している。報告書については、本日配った資料の中にある地域ケア会議の実施報告書を参考資料として渡してある。これが各センターのケア会議で実施されると市に上がってくる。次回、市の方で整理した中で、優先順位をつけ議題を絞り込む作業をしたい。会長も言っていた見守りも重要な課題の一つになる。次回の会議、9月中旬ごろ資料送付、10月初旬に各委員から意見を返却してもらい、会議の当日までに整理して示せばより内容の濃い会議ができるのでは思う。7月8月ケア会議実績分をすべて渡し、テーマも絞った案を9月中旬に送る。10月下旬集約したものを提示し議論したい。

【和氣会長】 内容について質問・意見等あるか。

【和氣会長】 他に意見・質問等あるか。それでは、【その他事務連絡：地域ケア会議への議題提示等今後の進め方】は以上。よろしいか。その他、委員、あるいは、事務局から何かあるか。

【高齢者福祉課主査】 前回の運営部会でもとはち南が作った口腔ケア冊子の出来がよいとの事で用意した。他のセンターでどのように活用するかはセンター長と調整中。

【和氣会長】 カラーで素晴らしいと思う。

【高齢者福祉課長】 包括恩方の募集応募状況。現在5社から手が上がり8月4日木曜にプレゼンをしてもらい受託者を選定する予定。選定委員の方はよろしく願います。

【山内副会長】 歯科医師会からも冊子よろしく願います。

【和氣会長】 新しい包括への見学について。

【高齢者福祉課主査】 事前に送付した資料と共に新しくオープンした大横、移転した高尾について訪問見学会を開く。日程は次回の運営部会の午後にやりたいと思うので、送った返信用書類と返信用封筒があるのでそちらに記入し送って頂きたい。

【和氣会長】 ほかにあるか。ないようなら、本日の報告・議題等はすべて終了になる。議事の進行は終了したので、進行を事務局に戻させていただく。

#### 4 閉会

【高齢者福祉課主査】 本日の会議の中で、言い忘れた点、言い足りなかった点あるようなら、配布済の意見書にて、8月5日金曜日までに意見をお寄せ頂きたい。

それでは、以上をもって、本日の会議は終了させていただく。

会議録署名人 平成 年 月 日 署名